

目標	4 豊かなひとを育むまち	取組分野	1. 学校教育
----	--------------	------	---------

事業名： あばしり寺子屋開催事業 担当部署： 学校教育課 学務係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	64	63				63	
目的	対 象		意 図				
	児童		児童の学習課題の把握、低学年からの学習習慣の定着を図ります。				
内取 容組	東京農業大学生物産業学部と連携し、学生ボランティアによるサポート学習を行います。						
実績	・ 実施回数：10回 (5月25日、6月17日、7月6日、7月27日、8月24日、9月28日、10月26日、11月9日、11月16日、12月7日) ・ 延べ参加人数：94名 (1年生 2名、2年生 18名、3年生 27名、4年生 0名、5年生 6名、6年生 41名)						
方今 向後 性の	引き続き、児童の学力・学習意欲の向上に努めます。						

事業名： 部活動あり方検討事業 担当部署： 学校教育課 学務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6		697	278				278	
目的	対 象		意 図					
	児童生徒及び教職員		少子化により、従来の活動の継続が困難となっている学校部活動のあり方を見直し、子どもたちが将来にわたり各種活動を継続できる環境づくりを推進します。					
内取組	国及び北海道が示すガイドラインに沿い、学校部活動の今後のあり方と地域展開の方法などについて検討を進めます。							
実績	①検討協議会の開催（7月） ②少年団・文化団体向けアンケート調査の実施							
方今後性の	引き続き、学校部活動の地域展開の実現に向け、検討協議会で協議します。							

事業名： 学校巡回図書整備事業 担当部署： 図書館 図書係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	750	750				750	
目的	対 象		意 図				
	小学生		学校巡回図書「クリオネ文庫」の図書を更新し、児童の読書活動を支援します。				
内取 容組	小学校全クラスに配置している学校巡回図書（クリオネ文庫）について、図書を更新します。						
実績	①新規図書購入：495冊 ②巡回対象：小学校全59クラス ③使用図書数：3,300冊（30冊/クラス、巡回用コンテナ数110）						
方今 向後 性の	引き続き、基金を活用しながら計画的に図書の更新を進めます。						

事業名： 「夢の教室」開催事業

担当部署： スポーツ課 スポーツ振興係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	2,373	2,373				2,373	
目的	対 象		意 図				
	小学5年生（一部、4・6年生含む）		子どもたちに「夢を持つことの大切さ」や「仲間と協力することの大切さ」などを講義と実技を通じて伝え、児童の健全な育成を図ります。				
内取 容組	トップアスリート等が「夢先生」として市内全小学校を訪問し、「夢の教室」を開催します。						
実績	対面開催（10校13コマ）※うち、1校2コマは中学校の部を試験実施（第一中 2年生）						
	①水泳 江原 騎士さん（9月 3日）：西小 （19名）、西が丘小（ 9名） ②フェンシング 福田 絢子さん（9月 4日）：網走小①（24名）、東小 （15名） ③サッカー 佐藤 悠介さん（9月 5日）：網走小②（25名）、第一中①（35名） ④サッカー 式田 高義さん（9月 6日）：白鳥台小（14名） ⑤サッカー 法師人美佳さん（9月 6日）：第一中②（34名） ⑥水泳 高橋 美帆さん（12月17日）：潮見小①（35名）、南小①・呼人小（26名） ⑦水泳 高橋 美帆さん（12月18日）：中央小 （20名） ⑧アイスホッケー 西脇 雅仁さん（12月19日）：潮見小②（36名）、南小② （22名）						
方今 向後 性の	引き続き、児童の健全な育成を図ります。 令和7年度から、小学5年生に加え中学2年生も対象にします。						

事業名： 小中学校特別支援教育支援員配置事業（2事業） 担当部署： 学校教育課 学務係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	62,819	62,322				62,322	
目的	対 象		意 図				
	特別な支援を必要とする児童生徒		個々の適正に応じた柔軟な教育の推進を図ります。				
内取 容組	教育上特別な支援を必要とする児童生徒に対し、指導補助及び運営支援を行う支援員を配置します。						
実 績	・支援員配置数：小学校 24名（網走小3名、中央小3名、西小2名、南小5名、潮見小8名、東小1名、西が丘小2名）、中学校 5名（第一中1名、第二中1名、呼人中1名、第三中2名） ・支援内容：①特別な支援を要する児童生徒に対する学習支援、健康・安全確保 ②基本的生活習慣確立のための日常生活上の介助、学習活動・教室間移動における介助						
方今 向後 性の	特別な支援を要する児童生徒が増加傾向にあるため、支援員の配置による学校教育全体の支援を継続します。						

事業名： 児童生徒カウンセリング事業

担当部署： 学校教育課 学務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6		5,056	4,731				4,731	
目的	対 象		意 図					
	児童生徒及びその保護者、教職員		児童生徒の心の悩みの深刻化やいじめ・不登校等の未然防止、早期発見・早期対応を図ります。					
内取容組	スクールカウンセラーによる小中学校への巡回カウンセリングを行います。							
実績	・配置人数：5名 ・年間勤務日数：延べ278日							
方今向後性の	引き続き、スクールカウンセラーによる児童・生徒へのカウンセリング、教職員・保護者への助言等を行います。							

事業名： 発達障がい児童・生徒相談支援事業 担当部署： 学校教育課 学務係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	972	970					970
目的	対 象		意 図				
	発達障がい等のある児童生徒教職員及び保護者等		発達障がい等のある児童生徒一人ひとりの持てる力を高め、生活や学習上の困難改善のため、より良い支援体制の構築を図ります。				
内取 容組	小中学校に児童・生徒発達指導アドバイザーを派遣し、実態に応じた発達支援に関する指導助言を行います。						
実績	・派遣依頼先：丸山芳孝 氏（学校法人帯広葵学園） ・派遣先：網走小、中央小、潮見小、東小、白鳥台小、西が丘小、第一中、第二中、第三中						
方今 向後 性の	引き続き、児童・生徒発達指導アドバイザーによる児童生徒のカウンセリングや、教職員及び保護者等への助言・援助などを行います。						

事業名： 学校給食無償化事業 担当部署： 学校教育課 庶務係

年度	予算現額	決算額	財源内訳					(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
R6	135,368	134,160				134,160		
目的	対 象		意 図					
	児童生徒の保護者		保護者の経済的負担を軽減し、子育て支援の充実を図ります。					
内取 容組	年間の食数に1食あたりの単価を乗じた金額を各調理場へ交付します。							
実 績	補助金交付金額 ・桂ヶ岡地区共同調理場 30,619千円 ・南地区共同調理場 45,669千円 ・向陽ヶ丘地区共同調理場 19,510千円 ・西部地区共同調理場 5,950千円 ・潮見地区共同調理場 25,761千円 ・西小学校給食調理場 6,651千円							
方今 向後 性の	引き続き、保護者の経済的負担の軽減を図るため、給食費の無償化を実施します。							

事業名： スクールバス運行費 担当部署： 学校教育課 学務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6		131,041	123,374				123,374	
目的	対 象		意 図					
	児童生徒		郊外地区の児童生徒の安全な通学を確保するため、スクールバスを運行し、通学時の利便性向上を図ります。					
内取 容組		児童生徒の通学時の安全を確保するとともに、効率的なバス運行を図るため、運行路線を3路線増設します。						
実績		運行路線数 ・ 東部南部地区 登校7路線（2路線増設）、下校6路線（1路線増設） ・ 西部地区 登校4路線（1路線増設）、下校3路線						
方今 向後 性の		引き続き、児童生徒の安全な通学を確保するため、スクールバス運行の維持管理に努めます。						

事業名： 小学校冷房設備整備事業

担当部署： 学校教育課 庶務係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6		431,233	385,647	120,810		264,800		37
目的	対 象		意 図					
	児童生徒及び教職員		普通教室、職員室、校長室へ冷房設備を設置し、安全・安心な教育環境を維持します。					
内取 容組		普通教室、職員室、校長室へ冷房設備を設置します。						
実績		小学校及び呼人中学校への冷房設備設置工事 ・実施設計委託 8,580千円 ・設置工事 375,892千円、173台						
方今 向後 性の		中学校へ冷房設備を設置し、安全・安心な教育環境の維持に努めます。						

事業名： 魅力あふれる授業づくり事業

担当部署： 学校教育課 学務係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	780	444				444	
目的	対 象		意 図				
	教職員		学力向上推進講師を派遣し、授業の改善を図ります。				
内取 容組	学力向上推進講師を派遣し、授業改善に向けた指導・助言を行います。						
実 績	・中央小学校公開研究会 (10月4日) 講師：樺山 敏郎 氏 (大妻女子大学家政学部児童学科教授) ・白鳥台小学校公開研究会 (10月11日) 講師：佐野 亮子 氏 (東京学芸大学非常勤講師) ・白鳥台小学校公開研究会 (10月11日) 講師：奈須 正裕 氏 (上智大学総合人間学部教育学教授) ・南小学校研究会 (11月20日) 講師：樺山 敏郎 氏 (大妻女子大学家政学部児童学科教授)						
方今 向後 性の	引き続き、授業改善を図ります。						

事業名： いじめ対策事業

担当部署： 学校教育課 学務係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	23,390	12,602					12,602
目的	対 象		意 図				
	児童生徒		いじめの未然防止、早期発見・対応を図ります。				
内取 容組	いじめの実態を把握し、未然防止、早期発見・対応に向けた指導・助言を行うとともに、児童生徒に対する「いじめはどんな理由があっても許されない」ことへの意識啓発に取り組みます。						
実績	①いじめに関する調査の実施（年2回） ②いじめ防止啓発資料の作成 ③市内小中学校のいじめ対策への支援、相談カードの配布（小学1・3・5年生、中学1・3年生） ④いじめ問題調査委員会の運営補助 ⑤いじめ相談報告アプリの導入（小学4年生以上の児童生徒） ⑥いじめゼロを目指す講演会の開催（10月20日開催）						
方今 向後 性の	引き続き、いじめの未然防止、早期発見・対応を図るとともに、「いじめはどんな理由があっても許されない」ことへの児童生徒の理解を深める取り組みを推進します。						

事業名： 学校教育専門相談員配置事業 担当部署： 学校教育課 学務係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	3,507	3,481					3,481
目的	対 象		意 図				
	児童生徒及びその保護者		学校が抱える諸問題の未然防止、早期発見を図ります。				
内取 容組	専門相談員を配置し、不登校やいじめ等の諸問題への助言指導、保護者対応など総合的な支援体制の強化を図り、各校統一的な支援体制を確立します。						
実績	・配置人数：1名 ・いじめ、不登校児童生徒及び保護者からの相談対応、学校や関係機関との情報共有、要保護児童対策地域協議会、個別ケア会議を通じた学校への指導助言の実施						
方今 向後 性の	引き続き、不登校やいじめ等の諸問題の未然防止、早期発見・対応を図ります。						

事業名： 網走南ヶ丘高校定時制生徒通学手段確保事業 担当部署： 学校教育課 庶務係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	3,262	3,262					3,262
目的	対 象		意 図				
	網走南ヶ丘高校定時制生徒		網走南ヶ丘高校定時制生徒の下校時の安全確保を図ります。				
内取 容組	生徒が下校時に利用する乗り合いタクシー運賃の一部を補助します。						
実績	・令和5年度 利用日数197日 延べ2,114人利用（実利用人数15人） ・令和6年度 利用日数188日 延べ1,684人利用（実利用人数22人）						
方今 向後 性の	引き続き、下校時の安全確保を図ります。						

事業名： 高大連携学生確保対策事業補助金 担当部署： 企画調整課 企画係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	1,000	1,000					1,000
目的	対 象		意 図				
	東京農業大学生物産業学部		都市圏からの入学生の確保に向けて東京農業大学生物産業学部が実施する学生確保対策事業に係る経費の一部を補助します。				
内取 容組	関東圏及び関西圏の高校生、中学生を対象に、網走市及び周辺地域で実施する教育プログラム研修（高大連携プログラム事業）に対し、補助します。						
実績	・参加人数：65名（生徒58名、教員7名） ・補助金額：1,000千円						
方今 向後 性の	引き続き、高大連携プログラム事業に対し補助し、都市圏からの入学者確保を図ります。						

事業名： 大学給付型奨学費

担当部署： 学校教育課 学務係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	11,300	11,100				11,100	
目的	対 象		意 図				
	大学進学者		学業成績が優秀で向学心があるが、経済的理由で進学を諦める若者を経済的に支援することにより、社会に有用な人材を育成します。				
内取 容組	返済が不要な入学準備金及び奨学金を支給します。						
実績	サン育英奨学金 11,100千円 ・令和3年度決定者 (奨学金150千円×12カ月×1名、100千円×12カ月×1名 計3,000千円) ・令和4年度決定者 (奨学金150千円×12カ月×2名 計3,600千円) ・令和5年度決定者 (奨学金150千円×12カ月×1名、100千円×12カ月×1名 計3,000千円) ・令和6年度決定者 (入学準備金250千円×2名、奨学金150千円×4カ月×1名、100千円×4カ月×1名 計1,500千円)						
方今 向後 性の	引き続き、社会に有用な人材を育成します。						

目標	4 豊かなひとを育むまち	取組分野	2. 社会教育
----	--------------	------	---------

事業名： 図書館図書整備事業 担当部署： 図書館 図書係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	6,757	6,757				95	6,662
目的	対 象		意 図				
	市民		市民の生涯学習活動（教養、調査研究、レクリエーション等）を支援するため、図書資料の整備充実を図ります。				
内取 容組	市民が読書に親しむ環境づくりや生涯学習に役立つ情報を提供するため、図書資料（図書・雑誌・新聞・視聴覚資料）を収集し、整備します。						
実 績	①図書の購入：3,203冊（うち、リクエスト273冊） ②新聞・雑誌の購入：新聞8紙、雑誌654冊 ③視聴覚資料の購入：33点 ※令和6年度末蔵書数 207,309冊						
方今 向後 性の	引き続き、計画的な更新を進め、蔵書の充実に努めます。						

事業名： 特別企画展開催事業 担当部署： 博物館 管理係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	613	613					613
目的	対 象		意 図				
	市民及び観光客		網走の自然と歴史についての理解を深めます。				
内取 容組	網走の自然と歴史をテーマとした特別企画展を開催します。						
実績	特別企画展の総入場者数:3,334名 ①自然系：「網走にダンゴムシ?展」（8～9月） 入場者数：1,789名 自然展展示説明会（8月18日） 参加者数：20名 ②歴史系：「昭和時代後半の網走展」（2～3月） 入場者数：1,545名 歴史系展示説明会（2月16日） 参加者数：24名						
方今 向後 性の	引き続き、網走の自然と歴史への理解を深めるため、特別企画展を開催します。						

事業名： 学生ボランティア支援事業 担当部署： 社会教育課 生涯学習係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	308	308					308
目的	対 象	意 図					
	高校生、大学生	地域の子どもたちのための取り組みにボランティアで参加する高校生、大学生へ交通費相当分を支援し、教育ボランティアの育成・確保を図ります。					
内取 容組	社会教育部、学校教育部で実施する11事業にボランティアで参加する高校生、大学生へ交通費相当分を支援します。						
実績	・ 学生ボランティア登録者数 121名（農大生78名、南ヶ丘高校生30名、桂陽高校生13名） ・ ボランティア参加者数 延べ310名（11事業）						
方今 向後 性の	引き続き、高校生、大学生のボランティア参加を支援し、長期的な人づくり、地域づくりのため、教育ボランティアの育成確保を図ります。						

事業名： 多文化共生推進事業

担当部署： 社会教育課 生涯学習係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	531	315					315
目的	対 象		意 図				
	在住外国人、市民		在住外国人と市民の交流機会を作るとともに、網走の文化や歴史、自然の体感を通じて、在住外国人も市民として様々な活動や地域づくりに参画できる環境づくりを目指します。				
内取 容組	在住外国人と市民の交流機会として「インターナショナルフェスタ in ABASHIRI」を開催するとともに、在住外国人が網走の良さを学ぶ機会として「あばしりを楽しむ冬のバスツアー」を実施します。						
実績	「インターナショナルフェスタ in ABASHIRI 2024」 ・開催日時 令和6年5月26日（日）午前10時～午後3時 ・参加者数 約500名（うち外国人参加者数約130名） 「網走の冬を楽しむバスツアー」 ・開催日時 令和7年1月26日（日）午前9時～午後4時半 ・参加者数 27名（応募総数52名より抽選）						
方今 向後 性の	年々増加する在住外国人に対し参加を働きかけ、取り組みを通じて共生社会の実現を進めます。						

目標	4 豊かなひとを育むまち	取組分野	3. 文化
----	--------------	------	-------

事業名： モヨロ貝塚PR事業 担当部署： 博物館 管理係

年度	予算現額	決算額	財源内訳 (単位：千円)				
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	1,030	1,030					1,030
目的	対 象		意 図				
	市民及び観光客		モヨロ貝塚館及びモヨロ文化を広くPRします。				
内取 容組	モヨロ貝塚の一層の周知を図るため、広報活動及びモヨロ文化の理解を深める講座を実施します。						
実績	①モヨロ貝塚の広報活動 ・女満別空港での電飾看板の掲示（通年） ・新聞、雑誌での案内広告の掲載（9回） ②モヨロ文化理解促進のための講座の開催 ・モヨロカレッジ（4回開講：5月3日：シャチの骨から学ぶモヨロの海獣狩猟、8月3日：モヨロ人の土器づくり、9月21日：モヨロまつり、12月8日：モヨロ文化市民講座） 参加者数：474名						
方今 向後 性の	引き続き、モヨロ貝塚の理解とPRを図るため、広報活動及び学習機会の充実に取り組みます。						

事業名： 若手アーティスト作品展示事業 担当部署： 美術館 管理係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	380	302				302	
目的	対 象		意 図				
	市民及び観光客		次世代を担う若きアーティストを応援するため、市内公共施設などに作品を展示します。				
内取 容組	北海道教育大学岩見沢校の油彩画研究室在 student とOB・OGの展覧会を開催します。						
実 績	北海道教育大学岩見沢校油彩画研究室展の開催（8月11日～10月17日） 観覧者数：612名						
方今 向後 性の	引き続き、若いアーティストを応援するとともに、市民に新鮮な感性の作品鑑賞の機会を提供します。						

事業名： 企画展示事業 担当部署： 美術館 管理係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	3,750	3,655				500	3,155
目的	対 象	意 図					
	市民及び観光客	企画展を開催することで、市民の芸術文化への関心を高め、郷土作家の知名度を高めます。また、優れた作品を展示することで、近隣や道外の観光客にアピールし、交流人口を増やします。					
内取 容組	『所蔵作品展』『遠藤彰子挿絵の世界』『平田隆宏展』などの企画展を開催します。						
実 績	①『所蔵作品展』	観覧者数	48名	⑥『現代作家コレクション』	観覧者数	176名	
	②『遠藤彰子挿絵の世界』	観覧者数	384名	⑦『上野山清貢・松樹路入展』	観覧者数	264名	
	③『北海道書道展』	観覧者数	234名				
	④『平田隆宏展』	観覧者数	347名				
	⑤『写真道展』	観覧者数	204名				
方今 向後 性の	引き続き、優れた作品を展示することで市民の芸術文化への関心を高めるとともに、近隣や他県、観光客などの交流人口を増やします。						

事業名： ふるさとアーティストフェスティバル公演事業 担当部署： 社会教育課 生涯学習係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	2,520	2,311		1,100		1,211	
目的	対 象		意 図				
	市民、あばしりにゆかりのあるアーティスト		網走市にゆかりのあるアーティストに発表の場を提供し、市民との交流を深めることで、さまざまなジャンルの優れた芸術文化のアーティストの活動拠点となるような環境づくりを目指します。				
内取 容組	網走市にゆかりのあるアーティストと市民との芸術文化を通じた交流機会を創出するため、「ふるさとアーティストフェスティバル」を開催します。						
実績	「2024 ふるさとアーティストフェスティバル in ABASHIRI Vol.5」 ・開催期間：令和6年12月3日（火）～8日（日） ・開催内容：アーティスト作品展、ロビーパフォーマンス、ステージ公演、ワークショップ（市民交流事業） ・入場者数：1,327名（展示859名、ステージ公演300名、ロビーパフォーマンス150名、ワークショップ18名）						
方今 向後 性の	隔年事業として継続し、市民とふるさとアーティストとの交流を通じて、まちの賑わいづくりと市民の芸術文化の振興を図ります。						

事業名： 芸術文化合宿推進事業 担当部署： 社会教育課 生涯学習係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	3,677	2,581					2,581
目的	対 象		意 図				
	芸術文化団体、市民		芸術文化団体の合宿受け入れを通じて、市民の芸術文化活動の推進を図るとともに、まちのにぎわいと芸術文化活動の拠点づくりを進めます。				
内取 容組	芸術文化合宿実行委員会への支援を通じて、芸術文化団体の合宿受け入れを推進します。						
実績	・合宿受入数 8団体、304名（延べ宿泊数647泊） ・市民交流事業 演奏会3公演（来場者数935名）、成果展3展（来場者数2,330名）、 ワークショップ2回（参加者数25名）						
方今 向後 性の	合宿誘致のプロモーション活動や合宿団体と市民との交流を推進し、まちのにぎわいづくりにつなげます。						

目標	4 豊かなひとを育むまち	取組分野	4. スポーツ
----	--------------	------	---------

事業名： 屋外スポーツ施設芝生補修事業 担当部署： スポーツ課 管理係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	9,724	9,724					9,724
目的	対 象		意 図				
	施設利用者		施設利用者の健康・体力維持増進を図るため、利用環境を整えます。				
内取 容組	スポーツ・トレーニングフィールド多目的グラウンド、野球場及び網走市営陸上競技場の芝生を部分補修します。						
実績	芝生補修 ・工 期：4月8日～6月28日 ・工事内容：剥ぎ取り芝生運搬・処分、芝生張替3,000㎡（スポトレ多目的グラウンド2,300㎡、スポトレ野球場500㎡、市営陸上競技場200㎡）						
方今 向後 性の	令和6年度で完了しました。						

事業名： 漕艇競技艇整備事業 担当部署： スポーツ課 管理係

年度		予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
				国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6		11,080	11,044				8,500	2,544
目的	対 象		意 図					
	施設利用者		合宿・大会誘致による地域活性化を図ります。					
内取 容組		大会利用、合宿利用に対応可能な漕艇競技艇を購入します。						
実績		舵手付きクォドルプル・フォア兼用艇購入（4艇）						
方今 向後 性の		引き続き、ローイング競技の推進、大会の開催、スポーツ合宿による競技力向上が図られるよう環境を維持します。						

事業名： 体育器具整備事業 担当部署： スポーツ課 スポーツ振興係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	1,366	1,365					1,365
目的	対 象		意 図				
	高校生以上の利用者及び 網走市で合宿を行うスポーツ 団体		網走市総合体育館トレーニング室内器具の点検・修繕・更新を行 い、安全確保を図ります。				
内取 容組	網走市総合体育館トレーニング室内器具の点検・修繕・更新をします。						
実 績	コードレスバイク 2台購入						
方今 向後 性の	引き続き、計画的に器具の点検・修繕・更新をします。						

事業名： 「夢の教室」開催事業

担当部署： スポーツ課 スポーツ振興係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)	
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源	
R6	2,373	2,373				2,373		
目的	対 象		意 図					
	小学5年生（一部、4・6年生含む）		子どもたちに「夢を持つことの大切さ」や「仲間と協力することの大切さ」などを講義と実技を通じて伝え、児童の健全な育成を図ります。					
内取 容組	トップアスリート等が「夢先生」として市内全小学校を訪問し、「夢の教室」を開催します。							
実績	対面開催（10校13コマ）※うち、1校2コマは中学校の部を試験実施（第一中 2年生）							
	①水泳	江原 騎士さん（ 9月 3日）	西小（19名）、西が丘小（ 9名）					
	②フェンシング	福田 絢子さん（ 9月 4日）	網走小①（24名）、東小（15名）					
	③サッカー	佐藤 悠介さん（ 9月 5日）	網走小②（25名）、第一中①（35名）					
	④サッカー	式田 高義さん（ 9月 6日）	白鳥台小（14名）					
	⑤サッカー	法師人美佳さん（ 9月 6日）	第一中②（34名）					
	⑥水泳	高橋 美帆さん（12月17日）	潮見小①（35名）、南小①・呼人小（26名）					
	⑦水泳	高橋 美帆さん（12月18日）	中央小（20名）					
	⑧アイスホッケー	西脇 雅仁さん（12月19日）	潮見小②（36名）、南小②（22名）					
方今 向後 性の	引き続き、児童の健全な育成を図ります。 令和7年度から、小学5年生に加え中学2年生も対象にします。							

目標	4 豊かなひとを育むまち	取組分野	5. 交流
----	--------------	------	-------

事業名： 友好都市訪問団派遣事業 担当部署： 企画調整課 企画係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	2,098	1,693				320	1,373
目的	対 象		意 図				
	小学5・6年生		友好都市の厚木市へ訪問団を派遣し、首都圏の文化や環境に触れ見識を広げるとともに、子どもたち同士の交流や集団活動を通じて自主性、協調性の育成を図ります。				
内取 容組	友好都市の厚木市へ小学生訪問団を派遣します。						
実績	・派遣人数：21名（小学生16名、引率者5名） ・派遣日程：令和7年1月8日～10日						
方今 向後 性の	引き続き、隔年で訪問団を派遣し、子どもたちの交流や育成を図ります。						

事業名： 地域おこし協力隊インターン活用事業 担当部署： 企画調整課 企画係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	2,938	1,912					1,912
目的	対 象		意 図				
	三大都市圏及び札幌市在住の大学生		都市圏の学生に、網走で生活しながらイベント運営補助など地域活動への体験を通じて、本市の魅力を体感してもらい、交流人口の拡大を図ります。				
内取 容組	活動期間2週間の協力隊インターンを実施します。 募集人数：10名						
実 績	・ 協力隊インターンを実施 参加者7名 Aコース (令和6年8月31日～9月13日) 3名 Bコース (令和6年9月7日～9月20日) 2名 冬季コース (令和7年2月5日～2月18日) 2名						
方今 向後 性の	学生同士の交流の場を設けるなど活動内容の充実に努めます。						

事業名： 多文化共生推進事業 担当部署： 社会教育課 生涯学習係

年度	予算現額	決算額	財源内訳				(単位：千円)
			国支出金	道支出金	地方債	その他	一般財源
R6	531	315					315
目的	対 象		意 図				
	在住外国人、市民		在住外国人と市民の交流機会を作るとともに、網走の文化や歴史、自然の体感を通じて、在住外国人も市民として様々な活動や地域づくりに参画できる環境づくりを目指します。				
内取組	在住外国人と市民の交流機会として「インターナショナルフェスタ in ABASHIRI」を開催するとともに、在住外国人が網走の良さを学ぶ機会として「あばしりを楽しむ冬のバスツアー」を実施します。						
実績	「インターナショナルフェスタ in ABASHIRI 2024」 ・開催日時 令和6年5月26日（日）午前10時～午後3時 ・参加者数 約500名（うち外国人参加者数約130名） 「網走の冬を楽しむバスツアー」 ・開催日時 令和7年1月26日（日）午前9時～午後4時半 ・参加者数 27名（応募総数52名より抽選）						
方今後性の	年々増加する在住外国人に対し参加を働きかけ、取り組みを通じて共生社会の実現を進めます。						